# あすから第4弾予約

## 市、計4会場5万人分

### ワクチン集団接種

札幌市は16日午前9時から、新型コロナウイルスワクチンの集団接種の第4弾予約を始める。65歳以上が対象。市運営として3カ所目となる札幌コンベンションセンター（白石区）と、道がホテルエミシア札幌（厚別区）に開設する「北海道ワクチン接種センター」を合わせ、計4カ所で約5万人分の予約を受け付ける。（阿部里子）

### 65歳以上が対象

会場ごとの予約枠は、市が5月下旬に稼働した札幌エルプラザ（北区）が1800人分、札幌パークホテル（中央区）が8600人分。市が22日に開設する札幌コンベンションセンターは3万7千人分。さらに道が19日に開設するワクチン接種センターは2120人分。

市は8日から65～74歳の高齢者約27万人に接種券を順次配布しており、受け取った市民は予約できる。予約方法は市開設の3施設は電話及びインターネット上の特設サイトで、道開設のエミシア札幌は特設サイトのみとなっている。また使用するワクチンは市開設の3施設は米ファイザー製、エミシア札幌は米モデルナ製。

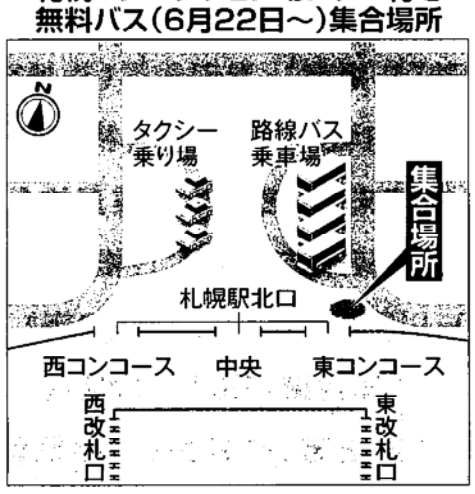
また市は22日から、札幌コンベンションセンターで接種する人を対象に、JR札幌駅北口と同センターを結ぶシャトルバスを無料で運行する。5～10分おきに運行し、所要時間は20分ほど。事前の予約は必要なく、乗車時に接種券を提示する。付き添いの人も同乗できる。

市の集団接種の予約ではこれまで5月に行った第1、2弾は75歳以上が対象。6月2日から始まった第3弾も当初は75歳以上だったが、予約枠に余裕が生じたため、途中から65～74歳に対象を広げた。

**札幌市の新型コロナウイルスワクチン集団接種第4弾（6月16日～）の概要**

| | | |
|---|---|---|
| 会場と予約枠 | 札幌エルプラザ（北区）約1800人分、札幌パークホテル（中央区）約8600人分、札幌コンベンションセンター（白石区）約3万7千人分＝札幌市開設＝ | ホテルエミシア札幌（厚別区）2120人分＝道開設 |
| 予約方法 | 予約センター（☎050・3684・9238）か、市の「集団接種会場予約」サイト | 市開設の「集団接種会場予約」サイトのみ |
| 予約時間 | 電話：午前9時～午後6時<br>ネット：24時間（初日は午前9時から） | ネット：24時間（初日は午前9時から） |
| 対象者 | 接種券を受け取った65歳以上の高齢者 | |
| 接種期間 | 6月21日（月）～7月11日（水）※札幌コンベンションセンターは6月22日（火）～ | 6月19日（土）～25日（金） |

**札幌コンベンションセンター行き無料バス（6月22日～）集合場所**




○札幌駅北口発
午前8時40分～（5～10分間隔で運行）
※接種予約済みの人、付き添い人対象

# 冬の観光振興支援を

## 市、来年度予算編成へ要望

札幌市は14日の市議会大都市税財政制度・災害対策調査特別委員会で、政府の2022年度予算編成に対する重点要望項目を報告した。新型コロナウイルス対策拡充に加え、市内のスキー場を軸に冬の観光振興を図るスノーリゾート戦略実現への支援などを盛り込んでいる。

重点要望は15項目。新型コロナ対策では、国に感染拡大期の迅速な初動対応や、休業要請などに応じた事業者への補償の制度化などを、スノーリゾート関連ではリフトなど老朽化施設の改修を念頭に財政支援を要望する。

他に小中学生に情報端末を1人1台ずつ配布する「GIGA（ギガ）スクール構想」に関し、機材の維持や運用経費の支援も加えた。

札幌を含む政令指定都市で提案する要望案には、国が意欲を示す自治体の業務システム標準化に関する財政措置や、脱炭素社会の実現に向けた取り組みへの支援などを盛り込んだ。秋元克広市長らが7月ごろ、政府や与党などに提出する。（平岡伸志）

# 中央区以外感染2桁に

## 全10区で前週下回る

札幌市は14日、6～12日の1週間に公表した新型コロナウイルスの新規感染者数を市内10区別に公表した。10区すべてで前週（5月30日～6月5日）を下回り、中央区を除く全9区で2桁台となった。

6～12日の新規感染者で、居住区が分かっている人は前週より426人少ない計608人。区別で最多の中央区は前週の187人から118人に減少。北区は140人から67人に、清田区は61人から26人とそれぞれ前週に比べて半分以上減った。

ピーク時の5月9～15日と比べると、中央区、東区は約4分の1、豊平区、厚別区では3割に減少。ただ、3月28日～4月3日と比較すると、新規感染者数の合計は2・3倍。市は「下がり切ったとは言えない」とする。（中村征太郎）

**札幌市内の区別のPCR検査陽性者数**

| | 新規感染者数（6月6～12日） | 前週（5月30日～6月5日） |
|---|---|---|
| 中央区 | 118 | 187 |
| 北区 | 67 | [illegible] |
| 東区 | 76 | [illegible] |
| 白石区 | 91 | 132 |
| 厚別区 | 28 | 45 |
| 豊平区 | 84 | 128 |
| 清田区 | 26 | 61 |
| 南区 | 22 | 36 |
| 西区 | 58 | 113 |
| 手稲区 | 38 | 54 |

※札幌市の資料を基に作成。区別の公表分は除く

※弊社製消火栓・標識ポール

㊤「F」マークが入った消火栓
㊦「F」の文字と星をデザインしたマンホール（北広島市提供）

# 消火栓、マンホールにも「F」

## 北広島のボールパーク周辺

【北広島】2023年3月開業を目指して建設が進むプロ野球北海道日本ハムの「北海道ボールパーク」（BP）予定地や周辺に、球団の「F」マークが入った消火栓などが続々登場している。開業までにマンホールや街路灯も黒を基調にしたデザインになる予定で、一部は既に見ることができる。

消火栓は、20年度から3カ年で13基を整備する計画で、うち本年度は9基設置する。市消防本部によると法令上、商業地域のBP周辺はおおむね半径100メートル以内に1基の整備が必要で、設置に当たり、市とBPを運営する「ファイターズスポーツ&エンターテイメント」（札幌、FSE）でデザインを決めた。

消火栓と消火栓があることを示す標識版は、全体を黒色とし、ファイターズやファンなどを意味する「F」を白色で、北海道の七光星を意味する星を青色であしらった。

市内で赤色以外の消火栓を導入するのは初めて。

マンホールは黒一色で、同様にロゴを入れた。同じく3カ年で130カ所を新設する予定で、既にBP内部などに設置を始めた。今後、周辺の歩道上にも配備し、見られるようになる。

費用は、BP周辺の上下水道整備費約14億円の一部で賄う。

街路灯にはロゴマークは付けないが、黒色に統一した。道路事業の一部として、BP内部や周辺に23年春までに150基設置する予定。市ボールパーク推進課は「細かい部分からデザインを統一し、ボールパークエリアとしてPRしていきたい」としている。（後藤耕作）